

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公表番号】特表2009-544279(P2009-544279A)

【公表日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2009-516822(P2009-516822)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

C 0 7 K 14/195 (2006.01)

C 0 7 K 16/12 (2006.01)

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

G 0 1 N 27/62 (2006.01)

G 0 1 N 30/88 (2006.01)

G 0 1 N 30/72 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 1/02

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 31/7088

C 0 7 K 14/195

C 0 7 K 16/12

G 0 1 N 33/68

G 0 1 N 27/62 V

G 0 1 N 30/88 J

G 0 1 N 30/72 C

A 6 1 K 39/395 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月23日(2010.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

単離抗原性ポルフィロモナス・ジンジバリスポリペプチドであって、以下の：

(i) 配列番号 3 のアミノ酸配列を有する P G 1 0 1 9 タンパク質；

(i i) 配列番号 2 のアミノ酸配列を有する P G 1 3 7 4 タンパク質；

(i i i) 配列番号 1 のアミノ酸配列を有する P G 0 3 5 0 タンパク質 ;
(i v) 配列番号 4 のアミノ酸配列を有する P G 0 6 1 8 タンパク質 ;
(v) 配列番号 1 若しくは配列番号 2 若しくは配列番号 3 若しくは配列番号 4 のアミノ酸配列と少なくとも 8 5 % 同一であるアミノ酸配列 ; 又は
(v i) 配列番号 1 若しくは配列番号 2 若しくは配列番号 3 若しくは配列番号 4 の連続アミノ酸配列と同一の少なくとも 1 0 個のアミノ酸を含むアミノ酸配列
から成る群から選択される、単離抗原性ポルフィロモナス・ジンジバリスポリペプチド。

【請求項 2】

配列番号 1 若しくは配列番号 2 若しくは配列番号 3 若しくは配列番号 4 の連続アミノ酸配列と同一の少なくとも 1 0 個のアミノ酸を含むアミノ酸配列である、請求項 1 に記載の単離抗原性ポルフィロモナス・ジンジバリスポリペプチド。

【請求項 3】

配列番号 1 又は配列番号 2 又は配列番号 3 又は配列番号 4 の前記アミノ酸配列と 9 0 % 、 9 5 % 、 9 6 % 、 9 7 % 、 9 8 % 、 9 9 % 又は 1 0 0 % 同一である、請求項 1 又は 2 に記載のポリペプチド。

【請求項 4】

配列番号 1 又は配列番号 2 又は配列番号 3 又は配列番号 4 の連続アミノ酸配列と同一である少なくとも 2 0 個、 3 0 個、 4 0 個、 5 0 個、 6 0 個、 7 0 個、 8 0 個、 9 0 個又は 1 0 0 個のアミノ酸の連続配列を含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のポリペプチド。

【請求項 5】

被験体においてポルフィロモナス・ジンジバリスに向けられる免疫応答を惹起するのに用いるためのワクチン組成物であって、有効量の請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つのポリペプチド、並びに薬学的に許容される担体を含む、ワクチン組成物。

【請求項 6】

被験体における歯周病の治療のための請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のポリペプチド。

【請求項 7】

被験体における歯周病の治療のための薬剤の製造における請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つのポリペプチドの使用。

【請求項 8】

前記被験体がヒト、ヒツジ、畜牛、ウマ、ウシ、ブタ、家禽、イヌ及びネコから成る群から選択され、好ましくはヒトである、請求項 6 又は 7 に記載の方法。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のポリペプチドと特異的に結合する、好ましくはポリクローナル又はモノクローナルである、抗体。

【請求項 1 0】

歯周病の予防又は治療に有用な組成物であって、請求項 9 に記載の抗体並びに薬学的に許容される担体を含む、歯周病の予防又は治療に有用な組成物。

【請求項 1 1】

各鎖中に少なくとも 1 9 塩基対の二本鎖領域を含む干渉 R N A 分子であって、前記二本鎖領域の鎖のうちの 1 つが配列番号 5 又は配列番号 6 又は配列番号 7 又は配列番号 8 の領域と相補的である、各鎖中に少なくとも 1 9 塩基対の二本鎖領域を含む干渉 R N A 分子。